

救急救命士養成等事業

事業の概要

【事業の目的】

救急医療が高度化していく中、最新の医療知識を習得するために研修を行うとともに、使用する観察資器材の整備・導入し、救命率の向上及び後遺症の軽減を目的とする。

【事業の内容】

- 救急救命士病院研修
- 気管挿管病院実習
- 救急ワークステーション実習
- モニター付き硬性喉頭鏡の導入
- その他観察資器材の保守

事業費（うち交付金充当額）

9 5 7 千円（3 5 6 千円）

事業の効果

毎年行う救急救命士病院研修では、医療圏の救急指定医療機関で研修を実施し、病院搬入後に医師が行う診察、治療の現状を研修するとともに、気管挿管病院実習で30症例の実習を行い、高度な気道確保の技術を習得することができた。

また、導入したモニター付き喉頭鏡は、鮮明な画像で生体内を確認することができる機器で、救急救命士だけでなく全ての救急隊員が使用することができ、窒息事案において異物を取り除くことに寄与する機器である。

事業の実施状況

- ・医学知識、観察能力の向上、処理技術の向上を目的に、救急救命士の研修を実施した。
- ・病院研修で習得した知識技術の反復研修として生体人形を使用し、導入した新たな機器を用いた訓練を実施した。

